

# 最終回 美しい緑と花の町・ルーイエナ町民訪問記

今年5月29日から6月2日まで5日間、ラトヴィア・ルーイエナ町を訪れた町民交流訪問団(36人)の皆さんの訪問記を毎月紹介しています。

## 訪問実ったルーイエナ、交流広がる新たな門出へ

「遠い国、ラトビア共和国～どんな町?」「どんな人たちが、どんな生活をしているのだろうか?」一。その旅は胸ときめかせ、交流訪問団36名の楽しい元気な5日間の滞在となったのです。

東川ラトビア交流協会15周年の記念すべき年となった昨年、姉妹町締結のため、ルーイエナ町から町長はじめ多くの町民の皆さまが来町し、新たな交流が始まったのです。

そして今年、私たち民間団体が続けてきた交流16年目にして、公式訪問として町民がようやくルーイエナの地を訪れることが出来たのです。

初めての地は、森林の町、木工の町、農業の町でした。私たちの町によく似た風土の町という印象を強く受ける旅になりました。一方、文化や毎日の生活はとても違い、歴史あるヨーロッパの一国であることも強く感じました。文化、教育、人々の考え方の違いがとても興味深く、楽しい交流になりました。



▲子供たちが周りを取り囲んで餅つき体験にみんな大喜び(ルーイエナ青年センター)



「ルーイエナの町名が付いた記念日」という日があります。5月29日、それは私たちが到着したその日でした。

記念式典とアトラクション、そして私たちの歓迎レセプション。町民の多くの皆さまが迎えてくれました。民族衣装でダンスが始まり、音楽の国らしくオーケストラの演奏や歌があり、街中の広場は人々でいっぱいです。

私たちも負けてはいられません。日本の民族衣装(着物、浴衣)で、持参した和太鼓を中心にして町民を巻き込み盆踊り。ルーイエナ町民とともに楽しい時間を過ごす事が出来ました。

日本料理の講習会を開いてみましたが、会場となった広い講堂に驚くほど多くの町民の皆さまが集まりました。おそらく日本料理、日本文化に対する関心の高さの表れでしょう。私たちはびっくりしてしまいました。

日本の食文化として女性陣が手巻きずし、いなりずしを作って紹介しました。農業者代表として参加していた農業委員会の宮崎正志会長、小林喜一代理は、事前に送っていただいた白、杵を使って盛大な餅つき大会を行いました。これは子供たちに大人気。ともに友好を深めることが出来ました。

大きな成果と実りある交流を成功させることが出来ましたことに対して、ラトビア共和国、ラトビア駐日大使館、多くの関係者の皆さまに心



▲珍しい手巻きずしを食べてみよう、と大人気

から感謝を申し上げます。

今後交流協会は、ルーイエナ町との交流を一層深め、町民の皆さまにもさまざまなことを紹介していきたいと考えています。

東川ラトビア交流協会  
青木 哲也

(道の駅・ひがしかわ道草館でルーイエナ町特産品の一部を紹介販売中です)